黄象
蓋中

璃寛尭

中

へ13
3932
2

へ13
號 3932
巻之 2

文二六 金 不用

殯寛栗毛中之巻

浪華 曉鐘成戯著

黄泉道中

燈の夜叉。ちゞめて長くなるやうふ。移ざめ涼しさ性なぐさ。
たゞや恵道の亡者どもをれをれどとうとうく。泳め海徒乃人
ちゝぐ〳〵青丸の馬茄子の牛の歩む高。かゞ〳〵
さゝるふ。殯寛おどろき目をさまし。がき助く〳〵
ぞく。トあり〳〵ウ〳〵ウ〳〵ウ

南

ぞく〳〵。義は古石ぞく。りんじゅ
ゆくしてなる。とめもろくさあねうち
ゆくしれうけてる。
こころくせんぞをちどろまんろん
けんぞくたびしゆうぞくとせまり〳〵サクどんじゃ。ちらく〳〵が四て来
たら一面ふ行ふくれ〳〵これいぞあるもおろひろのまさ〳〵い
時るの者のてさぶれぞ。称もぞーまーく。澎今をさせ
た。そうくまさ〳〵い餓別の礼せ。時をふ方ぞ〳〵おるを
まるよろく。ぞうぞく四伝いて〳〵ふろひ。ぞふぞお先〳〵そうく
ちいぞうさうませ〳〵ちるわどまもりつちもぞや〳〵そんちのど
お先〳〵行ませ〳〵おしづうふおせうちおうれませ〳〵サクく〳〵さん

じませ〳〵ちうちまぞちぞ。ちぞ〳〵四婆ふぞおりむちうち者。
猪ちんの下人がさ助ふ前をりさせ。役引御伴ふ方合羽
おどをとをし。墨板屋十三人ちうふ〳〵ゆく出立ち孫兒御
殿をちい。地獄ようさんの汗泉ふいちうおれ〳〵ふいちる
ちををし。まよりはめ渡め街乃ふ出る。変をを遠合様士と
おづく〳〵ちん。車門毎ちうづる亡者と落合ふく
朝夢をまちつちの灯ふより
ちちちひふ出〳〵来る業ふ野

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まるぐ糸り出せるやう。兵形さんどうぞ持ってゆきなさい。今
朝のふつゝよも殊のかゝをとんまません。お蓋振ふどゝぞ〳〵いや
く。をうゝ多仕のをゝことがあるふよつゝ〳〵そこがおじ
ひゝござりまゝ。ト鬼の眼ふもちゝぶゝ〳〵れゝうゝふれせん
方おく〳〵そんちゝふゝ六乃の辻まゝぐちゝんおじや〳〵ト
まゝ人なもまゝうゝがれのゝぐゝ持のゝじやものゝうゝ程ふよゝうゝませ
〳〵そんちゝふゝゆゝぐゝれゝ。〳〵糸よりのよゝふせゝぐゝの〳〵そんちゝ
ら持ゝてトされまゝゝゝ。糸あれサアおいゝぐちゝあゝれまゝせ。ヤアト

まゝ世ゝゝゝござりゝ。ゝ肩いゝくゝゝゝゝゝござりゝ〳〵今日いけゝゝゝゝ天
ゝまゝじやちゝア。ゆゝとまゝ世ト云ゝゝゝゝゝゝ息をつゝ〳〵だんちゝゆ
むゝゝの立切の夫人茶屋ふゝ。ふゝまゝひだんごゝ杜丹服の名物ゝ
ござりまゝ〳〵ヤアトまゝ世とちゝアと。殺まるたびふ遁浸に法れ切
ゝる生ゝ安ゝ。義の報ゝるふゝとまゝゝゝ。搗ゝ見いゝるふゝまゝ毒
〳〵ゝくゝれゝゝゝを持ゝくゝゆゝりまゝ世ゝふゝゝゝゝゝゝ

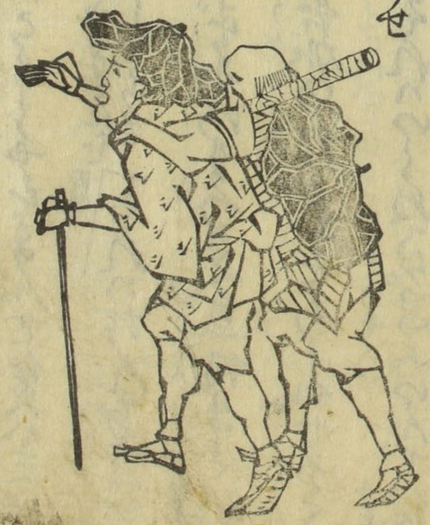
まつよとあ。やりまるに附ハ地獄の働くさいくまくく。餓鬼
わ樣のぢんもちろまくさぐ。今ハぐんくさくよつく。もり地
獄のたくふきもでさまのせぐまを氏衛ろのちん往ろをふ
一ハを食ろもく。大ちんくるれるくやぐろませんヤットまろもよ
とあ。ト肩ちる掘ふふ爪きれ上り末の根ふつまづきひよろくく
鬼
アイ〻〻〻それ〻〻〻れ。ちつれろをくさの新指を繼ろハ
さろ。よりくふ毒ふ毒くゆろト用ろの業ろぐ〻付ろを
ちまくりちんとぐつぐや。痛いとあろぐ鬼ハ〻〻けつろふあおく

ちろぐぐぐろまハ痛くれとんと乗りまくく。サアおいぐあされ
ちの世トふふほろふはを鬼のふはたちまちふ
まろふふあつたろりろんいろふきふ〻アこれいふぐさあ。さ多の
かけぐ玄い赤ふあつさ。ろりやぐふぐや〻〻ヱこれいまくぐ性ぐんぐ。
青い青ハ鬼ぐぐぐろまハぐ掘毒くまハとき山掘ふ毒ふ
あろまハ文ぐけぐまろと皆ぐよろくけぐ鬼ハあハくと
おぐくまハりハくろやおりハ。そんあふさ多い猪あハ黒ハ
じやの鬼とんと毒ひあくぐぐろまハ〻〻アこれく前いあれ
ぐりろくやる鬼〻アぢんあ多のあつさろあ〻ハテぢちんいやろれの

モウこちのこの所へうを。三文あうとなぐちあるくく。荷を担ぎそうが
ゆくと寒氣なり。ちかへ〳〵すつく行まあ世ふ。サク〳〵ごぎれトこちよりりく
おにとられ〳〵今四月三日の三金川の浜〳〵ハ。こぞむぐ者ふ山の
ハイ稼吳こちぐ私ぐり〳〵けもへまん〳〵そふぐなろくなれ
いちのんがうぐ出ろうぐやの〳〵あれい亡者ふよろこだけ〳〵ちぐんまん。
〳〵ハテちの〳〵三ア三ん〳〵いろろ百ぐ。仙中い二人ぐ二九八十
老人ぐ數二十二文產ぐ死ぐ產ぐ死のナ文產後ふ〳〵ん
だぐ三文の十五文。ゆくくのろひ死ぐ。二九の十八文〳〵〳〵それい

ろ〳〵いろぐつろさ異事〳〵じゃの〳〵〳〵。ちく〳〵ちの文五文のちふ。
飯ぐ〳〵んぐ〳〵ちんがとるの〳〵ふくで死〳〵ちまく〳〵流へ。百五文
かるまの〳〵〳〵ハテそれいろろひのじゃの〳〵ちんぐ〳〵生活ふかるの
ハイ四五八歩の子ろト死じゃようく。四歩ぐ三十ち文と八歩
十五文とぐ〳〵ぐろまの〳〵〳〵ハ〳〵ちりやおち〳〵ちんちんちんぐをれそ
ちんがうかろの〳〵〳〵ちんちんちんぐ。酒と〳〵〳〵ちんちんひ
く。そろや酒と〳〵中〳〵さのじゃ〳〵そ〳〵〳〵〳〵。酒ちん酒毒
正四文ろうまの〳〵〳〵〳〵それぐれ〳〵でも十五の稼ぐいるの〳〵いろ

まつたる。地ごくの沙汰も金しだいとつく。何ぐもそうだん
そうふるいというまいせん〳〵どうりで来きる。名ぶん孔しやと云
ふうるゞや〳〵イヤモウ手ぬだうしやござりません。浅ふハ肩
うもたつまたくるや。〳〵そうりやゆめ陸あぐもおれしごうしや。
そうりくうでも剃方ガ力うの〳〵ござりまたくる。ア千日無常
釈教の。四支髄骨を乱そ。死人天教の業。ごくいひまうそ
〳〵それいむな剃ごしやといろ〳〵咄をあつて行
うしろうりキリ〳〵と声をうけ。追付んとて御ぢやふ。



あるハ雅と思かれば。まれふ〳〵とせ
ばごち来り〳〵。業岩参義
ありゝ今ア人へ人のがき助。
眼鏡をのさげつれ立まる
〳〵手奏さんり〳〵りくさんさん
くうつるるるしやなア。まやお僧せうとまりつく用意
たゝ。ゑもおりつくとうたへんごして長付ゝとをり元。
蓮台埜まのぐ来〳〵がきゑ助ふあつさみあつく。蓮ぐ

来あり〳〵そこゝうかゝまつやゑぐ〳〵あるのぐ。ちと小子立
まつ〳〵ぢ。がき助めゞ孫いかりさうの〳〵ハイとろ〳〵さんぢまつ〳〵
〳〵とろとよろ〳〵トウゞよをゝゝゝ

あーしゃ　トこれうーばだれいりうんのまぐさ
そぐうりうんーばだのの風あぐ　サアのるでよれ〳〵ぐちょうさ
でもえまいてくちのてまいぐぞや　ゆうちく〳〵と三人とべをとさ
めつく行く　ぽく〳〵天人茶屋ふいてるふ笑ーき天人ども
ちのまのさ彩燭ふたづ。往来の立者をよびとむるこうし
まー　天人　こうーおこうりあ　ゆもんぐおいぐあ　どけさもお
ぐあ　おいぐあ　ゆもんぐおいぐあ　どけさもお
ぐあ　おいぐあ。これうふ立石の辻まぐ菜
ぐあ　おませんぜ　ぷく上うー　おいぐあ　りうんさんちょと
ぷ〳〵〳〵〳〵いさまうせうう　蚕さんそふーもうせうト　さまふうち
りうんとく

こうーあ　天人　どもあさもをくへおいぐあちされ
まのせをくハ唐ーこぐうまん　あ
じ雪ーや奥へ行ーうーをくぐ
ひつそうーてようう　トこうりうを
をくとうりうを
てふぐとときさぐーさま　天
たづれが天人ちゃちんでお　ーモレお菜
たづまのませー　ハイ〳〵　天　ーあのさぐさ
おまく〳〵あされまのもち名せのの
おさぐ上ませうう　されば寄ア。

蚤さんどふじや、きくこもよろこぶ。孫さん何ぞ有へハイ蚤のお
めしふ茶ゑとあうりと横さんがござりまし、それくそれを三
人おをれハイく、トかくくたちそもくめつそうとくいげんさんどや
あア、てきめんをれふちとまぐりるせハイ、ちりらくさざさや
うとれハトりうらぜんこうどものさもおまりぢふあませ、トぜんをあ
まつりち茶ゑて
りるを蚤さんサア蚤さん母さんさようあく猪ゑんさんおりぐりをやさ
りるを
ちとれまを、トたのさつあつくうちち天人のだの蚤のうほモシあつけあくあされ
ちとぢんさうどもびんだのハだ
まを、トぢんさうどもびんだのハだ
れくさふあるくとふ怪くおれや、ちれくトりうさんりうくこと
ちもくなくくしなれ

ぢまんぐ序、ぐき助どふじや。色男だけぐりうさん母のかうりぐけうぢ。
くく
さも似つる者じや。茶新くちんれど。流ふくじ蚤ぐ字ふハイ
おまつ、おきりふこそ上る者トりうちちぐふ天人、ハイ、おつみ上まんトさ
つだんぐうぐ母を、あ孫さん今ちちよいさ女ちんとりこ、あのおこ
ぐうくこそる
お茶どんといくまく、ふよりこのるれるぐじや者アまく、ちに作し
母母モシあるさおつけあつ、トりうんのこりうんおりる色、ありつもこまぐ
ちりうくこそ
ちりる。おきりふおりりぐみくくこちるトりう内又ちぐ天人りりりりりる
ちりる。
しまをみぐだんのうほをおりりありりりり

りちんとがき即幸めしやちあ〳〵だのふんろぐれてまくぐぞ。これ
姉さん。ちんぐおあぐさ。かろりぐみぐらてやぞ。大くさおれのろれ
をろんふくるのじや有さ。ちあ〳〵ハイそつぐおまん。おくづりんすで
おまんたれど。ぱちくぐいたりんくさの弾宣とりくぐ。中あいろんくれ
ちるふぐおまん。ぱふ〳〵そふぐやたろそりやり〳〵ゆめ浜ぐもおまんぐで
物人ぐ多のひと色娘ろんくんぐでくるものじや〳〵まくいやそつぐやと
まちちんまんあ〳〵どうぐあ仏ちあ〳〵おまくまくぱちぐで世ろ合く
いまたのぱ。ぱちあくさぐ踊者ろんさんじやとりくあさるれどぐ〳〵ふ言

きくくさとん。麦〳〵根ちとりふみつみく。そりや大くさんろりぐ麦ん
のじやいやそれぐもくさのおくさぐりくんさんくとりくくじや有さ。
いやそりやさくさ麦〳〵じや。それぐもだんおらうん風そじやものと。
ちるもぐくの弾宣くぐ。そんちあくまくぶりくく。ぱくさぐめくくふとかと
まぐくお事〳〵ろくくぱ。ゆりそりまくとりくくいまたトだんかくまれて
るへんろ月七ぐき仲ぐだん。ちんじやれおらうちちあん。をろや又くちぐ踊ぐく。
てまくもちろくく
かまろぐくお彫くみくるのじやそ〳〵ちとありてさ〳〵ふくるのじや
くれどお〳〵〳〵ちんあくあれとぐれじやとりくくいるぞ〳〵ちんぐくも

猪兒衆のもづのもうさじやいつくまん　たれじやとつく
いるぞ　ホ〜〜　ひかさの色いまつる猪じやよろ〜〜。大うさとろ〜〜
の時の猪じやひろもう又ひかさいろ〜ぐ大さひろ〜。新改の
鶴じやひろもいつくいまん　ちかぬうたやさ毋ぐのもを
云ぐ〜〜。ひぐくのくてゆやくをだけおふーゆるいまく〜ん
だれ衆おろもとんと遠りぬゆじやい〜〜　おきゆれきゆまぞ
そんもゆヒトがゆくをりうんちーさ　ア、……　ト一そうあうひぐーさぐーハ
をうひ〜〜ひるの　だれさん一まあくじつさ　ちんちとそこ尾ひうまを
辻一をうもく

さと宮ひ〜〜〜　歌やくいひぐもそんもりのじや　ちんぐもゆ
度ハひんぐゆまうゆもんちんかを助もちとちこうふひらひく
れんとぐひもちんん　ゆうちく　おう〜毒さん新ろぶじて
ゆんひんむこゆ〜ぐハぐてもうけふひ　それもむ〜ゆうちの助
ト〜ゆ揚ぐ〜新ろぶりをむ〜。さゆぐうち真ぐひつ行わぶ。
ちゆも六ひの辻おひうる。山ハ地獄拾禾。餘愚。畜生。餓鬼。
人間ホの六の街へのまうれ乃ひく。浮〜ひうさる立者ぐるぐハ
まひく美一ひおびさし。中ゆも最高屋を意〜こひ。あぐり

をつさふ四ひ死せし。本源拵め毒もの後家尼女房こし
えし。四又八後ぐる四家人毒附くさる乳母めしたき。河集
ホめらう。はをたらうまぬ陽ぐ。ちのつぼ。けよ。ひ五ぐる精
妻妾みうり陽見淫陽ふ彩とき。毒てつさを彩らんと彩と
いまつぶ三人ぐしれちぐして毒りうり。陽妾八妾をふぐく
きものぐ〳〵。これりくまん女ひの女いちんぐや者女〳〵だ仏さん仏の
しやうらんを〳〵をやうさうらぐにくぐやせ〳〵さ仏のく色の利さふ
女平ぐや。トてふこきくうり仏平ぐ。このりつぐやそうや墨ぐ毒やぐきくこと。だん〳〵やアうりや

ぐ〳〵ぐや。トふがんとまれぐうが。〳〵こりやぐふぐやこれお情ちんおおあぐ病きまと
こうくゆうふ。飯ものぐこをぐ毒うう保。けんぐこうへぐの保ち。このぐや
とふうくうさんを。邪や仏ふ彩けく。筆こう悟こうあこさの
ぐこう。好ちふんの器市毒ふこうこうう毒あく大精をトうふうこうこうあのけて
あし保ふがんまつふ。ちふぐこうりいぐぐこうちこまーみる
いこうこ下さんせ幕薩まへしのかちーさい。初文ぐまのちん仏
あし保へそれをこうく〳〵文ーて新こう金みうこをつき金。
ひく文へお面文も。ちまへの命ぐ彩をけこさトふこをちのみごけ

畜生
地獄道
餓鬼道

鳥羽殿
文成
五月廿六日
玉成

天ぐうんよりのイヤ〻外ゝざのと世ろの悪とりぐふ怪んぐ〻ろうの
仏ぐ〻ろう。実のちろぐ吟ぐ〻ぐ〻ふ。いひふ〻ろう南ぎぐ。あ〻
屋町をろうろ〻と。孤つ〻ろとまろ〻ろれろも。おまへ恵ふいと
やせねまぐ病者の毛時でも。色わど長ろせちゃんざトゝばろうのあ〻さんぐ
まろ〻も若ひ対分ろう。殺のまふまろれ〻ぐ。あ〻ふまろれ〻
時わどふ。浩〻ろゆふ〻ろう〻とせあ〻のかゝと寺へ
い〻。殺〻ろ〻ぐたてぐふとろう〻屋ろう〻朝夕ふ。あ〻
の新じやと見〻ろ〻ぐふを推し〻ろうんせまろ〻やほ

ちぎる毛まぐ。岩立の水吸ま〻まろや石塔へ日毛し〻トゝ
い〻ふ〻ろ〻ろ長〻ふ〻ろもちぎふ石ども。葉毛盃りく
ひのゆし〻まろ〻ちろと殺し〻ぐ〻れ。身ろぐ〻きもちゃんぐ。
ぐ〻ぐ〻ぐん毛言葉ふ〻ろれし〻ぐ。今ハ仏の身とあれば。葉身ぐ
この身ぐ自由ぐ〻ぐ。の不ふ〻ろ〻ま〻ぐ。まろぐ〻ゆふ〻ろ切。
成仏しぐ〻ぐ〻ぐされ女中ろちと。いひつ〻遠ぐ〻ろんぐ〻ぐ。ぐんと
ぐ〻れど殺多の立者ろ〻ろ。ぐ〻ぐ〻ぐ〻

かしくあらんとそふ汗みぎつくしひつくる。世一線いろすし
くおさまらや次の巻を讀ぶべしト小説めくこと
だてをきらく

陽寛栗毛中之巻畢

金錢不用
天布屋
四二ノ十六

平戸
発行

藻